

Bo dai 菩提だよッ

No. 0006

10月15日

発行人: 桐田探求人 松岡賢二

神奈川県
Tel/Fax
E-mail

いよいよ、秋野菜に取り組みます。

梅雨あけには、まだまだのようですが、もう心は「秋」にむかっています。それと言うのも、7月に入ると、秋野菜の苗づくりが始まるのです。自宅のベランダでPP（ポリポット）にブロッコリー、きゃべつの種を蒔きました。苗を育て、充分なおきさで畑に移植する、今からわくわくしています。

今、菩提のmyはただけでは、とまと、ミニとまと、なす、ピーマンが育ち、小かぶ、赤かぶ、すいか、メロンが出番を待っています。

里いも、からいも、落花生は、じっくりと土のなかで秋の実りに向かっています。

中央アチアチはくがうりが交差!

綾子shw/



ほわり、ここがすいかユタです。



じっくりと実る(?) すいか



こちらが、まさしくきゅうり



ここが植えた根に

これは、かぼちゃ

菩提の不思議、きゅうりかぼちゃ



4/13から復元くつめた
元桐田、今は、もう田んぼ

遙か遠く、菩提のmyはただけから、メール0011号、
6月13日、時々ぱらつく梅雨空の中で、丹沢は雲のなか。今日は、短期に育ち、見た目にも良い20日だいこんと小かぶの種まき。さらに、PPで種から育ててきた小玉すいかの定植。
落花生の育苗マルチを除去して土寄せしつつ、状況チェック。ここは、分株し、移植の予定だ。
きゅうりを眺めていたら、なんということだ? 接木苗として買ってきたきゅうりがかぼちゃになっている。どこでどうまちがったのか? 考えられるのは、
a、接木の段階で、きゅうりの方を切って終ったのに、ラベルはそのままだった?
b、かぼちゃなのに、ラベルをまちがえた?
こうなると、誰を信用していいの、わからなくなる。ひとつ、不思議が増えた。

6月28日、まずまずの梅雨の中、
考えてみれば、4月から3ヶ月が過ぎた。まだ3ヶ月、もう3ヶ月、いろいろ、あった、ありすぎるぐらいあった!!
ひとに言えない、素人の間違、それでもめげずに、ひたすらがんばった4月。ひとつ、ひとつ種を蒔き、苗を植えた5月。芽が出て、少しずつ大きくなって、おお!! 我が子たちよ!! と、感動させ、こまつ菜のおひたしから、きゅうり、なす、ピーマン、とまと、ミニとまと、いんげんの試し採りとなった6月、そして、この試し採りを、ええい、まよよ!! 天に放った大根の指し示す方角の友へ、第1号の贈り先となった。

こうして、秋作の準備とそのスケジュールを頭に入れつつ、いまはただ、とまとの、小玉すいかの、からいもの、赤かぶの頭を撫でつつ、ひたすら、その成長を見守っている。

ここで、いつものように、
遙か遠く、菩提のmyはただけからの、メール0014号、
7月8日、カラスなどの害鳥対策として、防鳥ネットをすいか、メロンのコーナーに張りめぐらした。一株2-3個の貴重な実をやられたくない。
そして、これからの秋、冬野菜のため、通路側に50cm幅のはたけを1畝、張り出して耕した。隣のおじさんには、以前に話をしていた了解事項だ。
しよぼ降る雨にもめげず、ひたすら働くお父さんなのだ!!

7月12日、綾子ちゃんと2人、いそいそと出掛け。雲の上きゅうりは1尺もの。とまとは完熟もの、なすもピーマンもいんげんも充分に育っている。
台所の片隅に忘れられていたじゃがいもの収穫、これが4、5kgの大漁だ!! (じゃがいもに大漁はないか?)
こまつ菜も収穫し、秋作のため耕した。
こうしてみると、えさも充分でなく、虫も鳥も勝手にやりたけ間にさせておいて、この収穫だと、本当に涙が出てくる。自然とお日さんと、お父さんの方なんだ!!

そう思いつつ、また、連絡する。 お父さん